

市長	副市長	部長	課長	補佐	係長	関係者

会議記録兼報告書

議 題	第 65 回伊那まつり 第 6 回事務局会議
日 時	令和 4 年 12 月 22 日 (木) 午後 6 時から同 7 時 15 分まで
場 所	伊那市役所 502 会議室
出席者	<p>実行委員長 中山昭、事務局長 工藤陽介、事務局次長 安藤泰行 市民おどり委員会 山岸洋子 おまつり広場委員会 網野俊輔、小池忍 花火委員会 北原光 市事務局 商工振興課 林裕二、生活環境課 藤井聡生、山口雄樹 観光課 清水俊一郎・唐木玲・中谷剛・小牧さとみ <欠席>事務局次長 宮澤伸英 おまつり広場委員会 (スタジオR 浦野創一郎・ブーケ 宮坂和世) 遊 ing ビレッジ委員会 (城取和広・伊那食品工業㈱ 白鳥翔) 市事務局 (商工振興課 村田和也、観光課 酒井高太郎)</p>
打 合 せ 内 容	
1 開会	
2 挨拶 (中山実行委員長)	<p>伊那まつり再開に向けては、いろいろと課題があるが、まず関係者それぞれの考えていることのギャップを解決していくことが大事である。課題を明確にして、解決をしていきたい。</p> <p>会議を重ねているが、その内容を広く公開していくなど、市民に理解してもらうことが大事。</p> <p>3回中止になった伊那まつりを、同じ轍を踏まないために変えることは変えていきたい。昨日の伊那商工会議所との打合せを踏まえて、改めてそう感じた。</p>
3 協議事項	
(0) 「伊那商工会議所として」について	<p>(12/21 伊那商工会議所と事務局会議の打合せを踏まえて工藤事務局長から)</p> <p>伊那商工会議所は、かねてより伊那まつりにおいて商工業団体として広く市民に喜んでいただける花火大会への協賛を通して地域の活性、にぎやかさ、楽しみの場の創出を行ってきた。コロナ以前の二日開催の要望を変えるつもりはないが、現在の状態が難しいことは理解する。その中で、持続可能な伊那まつり体制を組む必要性には同調するが、会議所として大規模な花火大会を行わないことを理由とした、他委員会 (おどりなど) を受け持つことは筋違いと考える。本来受け持っていた担当部署が、その担いに難を感じているというのであれば、どうするべきかは担当部署にて考えるべきである。</p> <p>また、伊那まつりにおいて会議所の役割は、商工会議所青年部を動員することもまた協力している</p>

と考える。

以前、伊那まつりについてのアンケートを取るよう要望しているがどうなっているだろうか。踊り連だけへのアンケートを行うとは聞いたがそれでは市民全体の民意が聞けていない。組織改編、出来ることからやるについても、市民への開示、要望を聞いた上での理由を付した進行が出来ているのか。現状仕方なしにしても、二日開催、大規模花火を要望している市民への説明は届いているのかなど疑問である。

また、お飾り、あて職というが会議所として総務委員長の担いを受けていた副会頭についてどう説明されるのか。実働部隊というが、総務委員長としての担いをそのようなつもりで行っていたわけでは無い。

以上のように、状況に応じた新体制の構築が急がれるのは分かるが、不透明な部分が多々ある。改変するにも現職への相談、開示を改めて求める。

(1) 前回会議のふりかえりについて

(議事録により、会議内容の振り返りを行った。)

(2) 第 66 回伊那まつりの開催について

(事務局から資料説明)

- ・ 20221222_伊那まつり_事務局会議レジュメ
- ・ 第 66 回伊那まつり日程等【素案（骨格）】
- ・ 第 65 回伊那まつり組織図【参考】
- ・ 第 66 回伊那まつり組織図（案）及び役割分担（案）
- ・ 市民おどり参加連アンケート～第 66 回伊那まつり開催に向けて～

○市民おどり参加連アンケートの集計結果について

(資料のとおり)

- ・ 今の流れでは商工会議所執行部も 1 日開催だと思っている。商工会議所も伊那まつりに参画していきたい。
- ・ 参加数が少なければコロナ対策もとれる。まずはできることから一步踏み出すのが大事。子どもたちの輝く場として、思い出になってもらえれば。「おどる人が減ること＝安心して観ることが出来る」ということでもあるので、是非市民おどりを実現していきたい。

○市民アンケートについて

- ・ 現実にアンケートを取れるかどうかはともかく、会議を重ねている内容をこれまで以上に広く公開していくなど、市民に理解してもらうことが大事。

○日程素案について

- ・ 示した日程は骨格であり、例えばオープニングパレードを行っていた団体の発表も織り込んでいければと考えている
- ・ 今までは山寺（伊那北駅前）まで規制をかけていた。坂下で切ってしまうと山寺区から反対があるかもしれない。皆さんの御意見をお聞きしたい。

- ・山寺まで規制をかけても、迂回路対策は必要であり、警備費用は大きく差はない。課題は、山寺活性化協議会が解散しているため、誰に話に行けばよいのか判断が難しい。区長さんに話しても判断できないと思う。
 - ・交通整理について、従来の例で行くと差はないが、安協から警備員に変えたりすることで費用は変わってくることになる。
 - ・韓国で転倒事故があったが、交通規制の範囲を広く確保しておいた方がいいのか。
 - ・閉塞した通路でもないため、この人数であれば坂下まででもスペースは確保できると思う。
 - ・交通規制が坂下までだと伊那橋から北が寂しくなってしまう。同じ通りでそれで良いのだろうか疑問はある。
 - ・閉幕花火は連から見えるのか？花火協賛のお金は誰が集めるのかなど疑問はある。
-
- ・みなまつの経験から、ベビーカーを押している人も多く来ると思う。配慮が必要だと思う。
 - ・みなまつりの後、新型コロナの患者が増加しないかひやひやしていた。そこまでの増加はなかったため、外で行うイベントは感染リスクが低いと思う。そこをアピールしていければと思う。
-
- ・いただいた意見を基に、事務局長、次長と相談して次回以降お示ししていく。

○委員会組織について

- ・おどり委員会で、おどりインストラクターの体制づくりが課題。
- ・インストラクターの中でも人によってコロナに対する意識が異なる。現状把握が必要。

○運営テーマについて

(グラフィックレコーディングのとおり)

- ・キャッチフレーズとあわせて、次回、詰めていく。

○最後に

- ・報道も傍聴に来ているが、引き続き、一日開催など会議内容を市のホームページでも公表していく。

(3) その他

- ・次回、日程、規模について事務局素案（詳細）を提示する。

4 その他

(1) 今後の日程について

令和5年1月18日（水）午後6時から 伊那市役所多目的ホール

○取材対応

信濃毎日新聞、伊那ケーブルテレビジョン、いなアイネット